



平成28年度 果樹情報 第15号

(平成28年10月20日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (10月前半：果樹研究所)

平均気温は、平年と比較すると1半旬が19.9℃で2.1℃高く、2半旬が17.6℃で1.4℃高く、3半旬が12.1℃で3.8℃低く経過しました。

この期間の降水量は4.0mmで平年の6%でした。

2 生育概況

(1) りんごの果実肥大 (10月17日現在)

りんごの暦日比較では、「ふじ」は縦径104%、横径108%と平年より大きく、また、満開後日数による比較でも平年より大きい状況です。

表1 主要品種の果実肥大
(暦日比較 果樹研究所10月17日調査)

果実肥大	りんご	
	ふじ	
	縦径	横径
実測値(mm)	85.0	94.8
平年比(%)	104	108

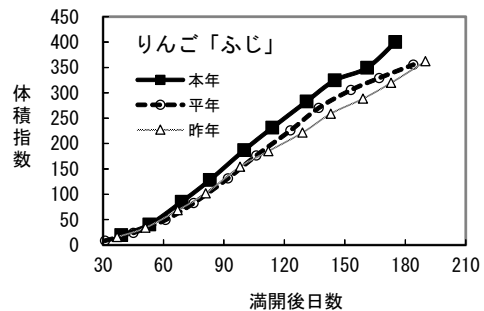


図1 りんご「ふじ」の果実肥大

(2) りんごの生育概況

ア 早生・中生品種の収穫期と果実品質

収穫盛は早生・中生品種ともに平年より8～9日早まりました。果実重は平年並～やや大きく、糖度は早生品種「つがる」で平年並、中生品種ではやや低くなりました。

イ 「ふじ」の裂果発生状況

10月13日現在、外部裂果率はマルバカイドウ台(51年生)で8.3%、わい性台(20年生)で13.3%と昨年より多い状況です。裂果発生率は前回調査した9月上旬よりやや増加しています。

表2 「ふじ」の裂果状況 (10月13日現在)

調査樹	樹齢	外部裂果率(%)				裂果発生率(%)			
		H28	H27	H26	H25	H28	H27	H26	H25
ふじ/マルバ	51年生	8.3	4.1	10.4	17.4	35.0	23.3	35.4	39.1
ふじ/わい台	20年生	13.3	1.6	5.2	13.9	46.7	16.1	12.1	16.7

※ 調査規模:2～4樹の目通り付近から60果採取した。

※ 外部裂果率:つる割れ、浮皮等の割合、裂果発生率:外部裂果+内部裂果の割合

ウ 「ふじ」の果実成熟状況

10月12日(満開後172日)における「ふじ」の成熟は、硬度は14.0ポンドと平年よりやや低く、デンプン指数は3.9でほぼ平年並に推移しています。また、糖度は13.9、リンゴ酸は

0.36%でした。果皮のアントシアニン含量は平年よりやや高めに推移していますが、蜜入り指数は1.0で、平年より蜜入りが遅れています。

3 栽培上の留意点

(1) りんご

ア 「ふじ」の収穫前管理

摘葉、玉回しは遅れないように実施しましょう。10月中旬以降は、個々の果実がしっかり着色するよう丁寧に実施しましょう。

イ 「王林」の収穫

未熟果（緑色果）を収穫すると食味が劣るので、果面全体に果点が浮き上がってきた果実から2～3回に分けて収穫しましょう。収穫適期は、果皮色が全体に黄色みを帯び、がくあ部付近にやや緑色が残っている状態の時期です。果面から緑色が消えた果実は貯蔵性が低いので注意しましょう。

ウ 「ふじ」の収穫

今年の「ふじ」は、蜜入りが遅れているものの、果実成熟はほぼ平年並に推移していると考えられます。

収穫を遅らせるほど蜜が入る傾向がありますが、収穫にあたっては、蜜入りの状態に加えて、果皮の着色や地色の抜け、果肉硬度、食味等により総合的に判断しましょう。

4 病虫害防除上の留意点

(1) 病 害

ア ももせん孔細菌病

翌年への越冬菌密度の低下を図るため、秋期防除を実施しましょう。新梢葉で発生が多かった園では、2週間間隔で落葉までに3回防除を実施しましょう。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

気象庁[営農活動に役立つ気象情報] <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>